東洋大学企画展

TOYO UNIVERSITY EXHIBITION

駅伝を讃えて　～詩人・勝 承夫と箱根駅伝～

駅伝を讃えて

若い豹は春の象徴
君たちが走ると
東海に春がよみがえる
富士はおおらかに微笑み
相模の海は夢多い調べをおくる

君たちは意思と力の群像
君たちは青春の花々
赤や海老茶や紫が入りみだれて
春のさきがけのテープを織りなす
君たちは光のようにはつらつと走り
町々を 並木を 野を 山を
呼びさます　春のつばさ

東京箱根間大学駅伝
二日間のレースは
二つないスポーツの交響楽
自然の美とスポーツの美の
明るく展ける新春のフイルム

よろこびと涙を
わかち合う二百二十キロ
若い日の楽しい感激よ

勝　承夫

すでにご存知の方も多いと思いますが、箱根駅伝往路のゴール・復路のスタートである芦ノ湖畔には箱根駅伝に関連した３つの記念碑があります。一つは昭和 36（1961）年に建てられた「東京箱根間大学駅伝競走記念碑」、二つ目は昭和 59（1984）年の第 60 回大会を記念して建てられた「駅伝を讃えて」の詩碑、三つ目は平成 6（1994）年の第 70 回大会を記念して建てられた「箱根駅伝栄光の碑・若き力を讃えて」の碑（ブロンズ像）です。そのうちの一つ、詩碑「駅伝を讃えて」の作詩者である勝承夫（かつ よしお）先生は東洋大学の OB です。

勝先生は明治 35（1902）年に生まれ、箱根駅伝の第１回大会が行われた大正 9（1920）年に東洋大学に入学、旧制中学時代から詩人として活動されていましたが、大学卒業後は報知新聞社（現読売新聞社）の記者生活を経て文筆活動に専念し、武者小路実篤氏や高村光太郎氏らと詩集を出版するなど文学界で活躍されました。

戦後は音楽教育活動にも参画され、サトーハチロー氏や服部良一氏らとも親交があり、日本音楽著作権協会会長も務められました。また、詩集『航路』をはじめとする数多くの作品とともに、全国の小・中・高等学校の校歌の作詩を数多く手がけられました。東洋大学との関係では、理事長や校友会長などの要職を歴任され、中でも工学部の新設にご尽力されたそうです。勝先生は昭和 56（1981）年に 79 歳で亡くなられました。

「駅伝を讃えて」の詩は、勝先生が昭和 28（1953）年１月１日の読売新聞紙上で発表された詩のようです。

東洋大学陸上競技部（長距離部門）
公認応援ホームページ「輝け鉄紺！」より